

現状	☆市民へのアンケートなどから、多くの市民が南魚沼市の学びの環境が、市民の生涯学習に求める高い学習意欲に応じきれていないことや、生まれ育った生活圏での高等教育の機会が十分ではない現状が浮かび上がった。
目指す方向	☆「地域の最大の課題はひとつづくりという認識のもと、地域に根差した文化をはぐくみながら、すべての市民が生涯にわたって自由に学べる学習の機会を拡充する。」（南魚沼市総合計画基本構想政策大綱2の「教育・文化」より） ①「地域の持続的発展」と「次世代への継承」を意識した「子どもからお年寄りまで」、一貫性のある市民主導の生涯学習・社会教育システムの構築 ②「市内及び近隣で完結する」学習環境整備 ③市民自らが望む事業を行政の支援を得ながら能動的に企画・運営する、「連携協働型生涯学習・社会教育」への転換
期待	市民憲章で謳われている「人間を大切にする」「自然を大切にする」そして「ものづくりを大切にする」の意味合いを自ら考え、「生きる」ための知恵と文化を学び、個としての自己実現と、家族や社会の一構成員として他者を尊重し、責任ある行動と協働ができる「賢明で善良な市民づくり」が可能となり、「地域の持続的発展」と「次世代への継承」が期待される。

プラン 推進方針

- 南魚沼市にある教育資源「自然、農、食、文化、伝統工芸、人」を活用し「子どもからお年寄りまで」一貫性のある生涯学習システムモデルの構築とその普及を目指します。
- それぞれの世代間で、「学びあい」「教えあい」「伝えあい」の理念で、行政の支援を受けながら市民が主体となって企画・運営します。
- 活動から世代間の連携と南魚沼市の持続的な発展を目指し、市民が互いに支え合うコミュニティを構築します。

大人 市民カレッジ

- ・市民の自由な発想と市民ニーズに即した市民カレッジを実施します。
- ・市内の様々な空間を活用した学びの場・機会の提供を行います。
- ・市民カレッジを運営するための人材バンクを設け広く人材を募ります。
- ・学んだことを地域に生かす人材の育成と活用を目指します。
- ・市内の大学や高等学校と連携し学びの質の向上を目指します。
- ・各地域で行われている歴史や伝統に根差した活動の情報提供や連携支援を行います。

例：市の歴史・文化に関するプログラム、産業に関するプログラム、町づくりに関するプログラム

学びの方法・形態

教室・イベント・オンラインの公開授業（MOOC）、自主ゼミナール等を組み合わせ、歴史・文化・科学・言語など趣味教養から物づくり、経営、健康講座など実学まで、多様なニーズへ対応

市民

子ども たんけん南魚沼

- ・南魚沼の自然・文化・産業を体験的に理解し、郷土への関心や地域への関わりを高めていく教室・事業を実施します。
- ・市民から広く講師を募り、「大人」、「高齢者」等の人材の活用と、知識・技術等の継承、世代間の交流を図ります。
- ・地域の祭りや伝統芸能・行事などの情報を収集し、地域に積極的に関わられるような情報提供を行います。

例：農業体験教室、自然体験教室、伝統産業体験教室

高齢者 幸齢義塾

- ・高齢者の自主的な学習の機会やサークル活動を支援します。
- ・高齢者の知識・経験を生かし、子どもたんけん南魚沼や市民カレッジ等の講師としての人材活用をすすめます。
- ・市保健課等の健康づくり部門と連携し、心身ともに健康に暮らせる取組を行います。

例：体操、認知症対策、ファイナンシャルプラン

交流・連携・共有

社会教育課

コーディネーター

学びの郷南魚沼（生涯学習センター）

たんけん南魚沼
運営本部

市民カレッジ
運営本部

幸齢義塾
運営本部

学びの郷南魚沼プランを具体的に実現・実行できるような仕組み・支援体制

図書館

スポーツ施設等

公民館

市民主体の学びの場として、コーディネーターと共に新しいプログラムを企画・立案する場所

- 市民ニーズと市民の自由な発想による「学びの郷南魚沼プラン」の実現を目指します。
- 市内外の生涯学習プログラムや、地域の行事等の様々な情報提供を行います。
- 市民が気軽に集え、情報交換を行い、市民の自由な発想による活動が行える場の提供を行います。
- 市民の自主的なサークル活動や生涯学習プランへの助言や支援を行います。
- 既存の施設・団体等と連携して取り組みます。

民間団体

博物館施設等

NPO

